

第4回定例会議案審議結果

第4回定例会には新規15件の議案が提出され、継続11件と合わせ審議した結果、承認1件、可決14件、同意3件、継続5件、撤回3件となりました。

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 結果. Contains 19 items of council proposals and their outcomes.

賛否の分かれた議案に対する議員の表決状況

Table showing voting status for 4 proposals across various council members and parties. Columns include party names and member names.

・表決 (○=賛成 ×=反対)
・会派名 (サイド=市民サイド、ネット・市=生活者ネット・市民クラブ、民・無=民主党・無所属クラブ、共産党=日本共産党国分寺市議団、無=無会派)

陳情の審査結果

第4回定例会には陳情7件が提出され、委員会に付託した後、継続審査中の8件と併せて審査し、一部採択・一部審議未了2件、不採択1件、審議未了3件、継続9件となりました。

第4回定例会

- 〈一部採択・一部審議未了となった陳情(付託先)〉
陳情第22-5号「国に子宮頸がん・ワクチン接種を要する意見書の提出を求めるとともに子宮頸がん・ワクチンに市の補助を求める陳情」(厚生委員会)
陳情第22-14号「子宮頸がん予防ワクチンへの助成を求める陳情」(厚生委員会)
〈不採択となった陳情(付託先)〉
陳情第22-7号「子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情」(厚生委員会)
〈審議未了となった陳情(付託先)〉
陳情第22-8号「選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)
陳情第22-9号「永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)

- 陳情第22-10号「人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)
〈継続となった陳情(付託先)〉
陳情第22-6号「家庭福祉員制度を充実する陳情」(厚生委員会)
陳情第22-11号「一人暮らし世帯の安否確認と緊急通報システムの新設・普及を求める陳情」(厚生委員会)
陳情第22-13号「違法性が高い教育委員会委員への月額報酬支給を月額制に改めることを求める陳情」(総務委員会)
陳情第22-15号「エックス山北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)
陳情第22-16号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)
陳情第22-17号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)
陳情第22-18号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)
陳情第22-19号「国分寺市議会傍聴規則の改正に関する陳情」(議会運営委員会)
陳情第22-20号「エックス山北側の樹木伐採の中止を求める陳情」(建設環境委員会)

意見書を可決
下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。

意見書第3号

子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

政府は平成22年度予算から導入した子ども手当について、全額国庫負担で実施するとの方針を繰り返し表明してきたが、22年度予算では「暫定措置」として地方負担約6,100億円が盛り込まれた。

本来、全額国庫負担が原則だった子ども手当について、原口一博前総務大臣は国会答弁等で、地方負担を23年度以降は継続しないことを明確にしていたにもかかわらず、現政権は来年度以降も地方負担を求めることに前向きな考えを示している。

子育て支援は、地域の実情に応じ地方自治体が創意工夫を発揮できる分野であり、子ども手当のような全国一律の現金給付については国が担当し、全額を負担すべきである。こうした内容について地方との十分な協議もないままに、来年度予算でも地方負担を継続されることに強く反対する。

よって国分寺市議会は、制度を存続させる場合、最低限、現行の地方負担を廃止し、全額国庫負担で行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月21日

東京都国分寺市議会